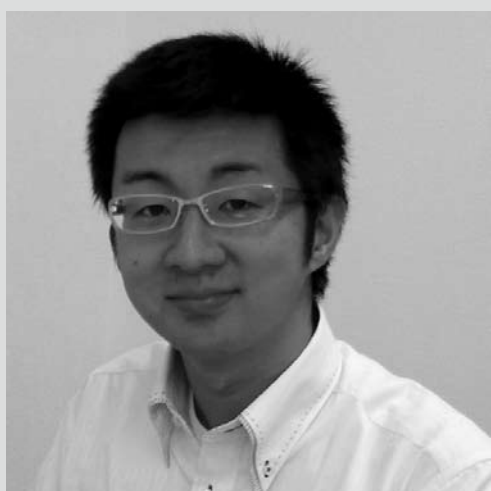




西辻一真さん

新スタイルの体験型貸し農園

耕作放棄地を整備して体験型農園とし、農地と共に農作のノウハウを利用者に提供するというユニークなビジネスで注目を集める「マイファーム」。同社の体験農園は、管理人による定期的な巡回サポート、プロによる農作指導、農具・肥料などの常備、無農薬で安心・安全な作業環境など、初心者やファミリーユーザーにうれしい独自の付加価値を備えているのが特徴です。貸し農園としてもビジネスモデルとしても従来にはない新たなスタイルで、各方面からの多大な支援・評価を受けています。

農園利用者の大半を占めるのは、3、40代のサラリーマンファミリー。週末しか農地に出向けない家庭がほとんどなので、平日に管理人のサポートが受けられることは大きなメリットであり、休憩スペースやトイレ等、子ども連れでも安心して利用できる設備も喜ばれ、評判は上々です。また、同社の得意分野の一つであるIT技術を駆使して、会員同士が交流できるソーシャル・ネットワーキング・サービスや、動画で農作業に関する勉強ができるサイトを構築するなど、農園に行けない時間も楽しんでもらえる各種サービスも充実。平成19（2007）年創業のまだ若い会社ですが、独自性に富んだ事業内容と地道な努力で業績を伸ばしています。



全国に増える「マイファーム」農園

地元・福井の休耕地を再生したい

同社の創設者で代表取締役の西辻一真さんは、高校時代、地元・福井県の郊外に点在する休耕地を見て「単純に何か植えたいと思った」といいます。それが農業に興味を持ったきっかけ。家庭菜園の経験があるだけで、生産から出荷までの流れや減反政策に関する知識などは皆無でしたが、「あの休耕地を何とかしたい」という思いで京都大学農学部に進学しました。そして在学中、「スローライフ」や「ロハス」が話題になり始めた頃に、農地不動産的な仕事をしようと思い立ちます。家庭菜園をやってみたい人た

農林水産物の活用 IT活用&宣伝力向上

ちに、土地を斡旋するような仕事をしようと。しかし農地法が厳しくて実際には難しい。そこをクリアしなければ休耕地を再生できないことを知った西辻さんは大学卒業後、経験を積み人脈をつくる目的で、一旦広告系企業に就職します。

約1年後に退職。再び農地不動産にチャレンジしようと動き始めたときに、現在の共同経営者である岩崎吉隆さんと出会います。岩崎さんは「子どもが土に触れる機会を増やしたい、農業教育をもっと推進すべき」という考えの持ち主でした。では一緒に組み、休耕地を再生させて農業教育を行う学校のようなものをつくろうと意気投合。そこで立ち上げたのが「株式会社マイファーム」です。休耕地を再生したい西辻さんと、土に触れる機会を提供したい岩崎さん。異なる夢を持つ二人の思いを端的に表現するものとして、このとき「自産自消」という言葉が生まれます。最高のパートナーとの出会いが、これまでにない斬新なビジネス創造へと結びついたのでした。



農園での作業風景

ソーシャルベンチャー企業らしく

同社の貸し農園事業は、耕作継続が諸条件で難しいオーナーから委託を受けて農地を再生し、そこに独自サービスを乗せて利用者に提供。その収益からオーナーにロイヤリティを支払うシステム。まずは農地の確保から始まります。しかし実績ができるまでは放棄地の整備等も持ち出しで運営するしかなく、創設から約半年は相当苦労したといえます。そんな時にサポートしてくれたのが、ファンドです。また2年目に入り、利用者向けサービスの充実を図る際もファンドに応募。支援を受けて、動画サイトの開設等がスムーズに行えました。

こういったサービスの一つ一つが、人々を畑に連れ出すための重要なカギを握ると西辻さんは考えます。「ベランダ菜園はわりと始めやすいけれど、ベランダから畑に踏み出す、ここに大きなギャップがある。これをいかに越えさせ

きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業 平成20年度・平成21年度 事例集

てあげられるかが僕らの仕事の真骨頂」。ギャップを埋めるためのパイパスとして、魅力的なサービスを考え、人々を畑に連れ出すきっかけをつくる。そしてマイファーマーを増やし、「自産自消」を全国に広める。その先には食糧自給率の向上をも見据えた、ソーシャルベンチャー企業としての明確な目標が掲げられているのです。



西辻さん自ら農作指導にあたることも

「自産自消」社会の実現をめざして

西辻さんの起業のきっかけとなった地元・福井の休耕地は、再生するには最も難易度の高いゾーンに属します。都市部から離れているため趣味程度の関わり方では難しく、移住・就農する人が必要なのだといえます。そこで、そういった人材を育てるための農業専門学校事業が平成22（2010）年からスタートしました。いわゆる“プロ農家”を養成するシステムです。ここから福井に定住してくれる人が出てくれたらと考えています。

それが西辻さん個人の最終目標だといいますが、「極論を言ってしまうと、最高難度の福井の耕作放棄地を解決できるということは、日本中の耕作放棄地問題が解決できるということ」。つまりそのときは、マイファームが提唱する「自産自消」社会がかなり浸透しているということです。西辻さんの夢がかなうとき、日本各地によみがえった田園風景が豊かに広がっているに違いありません。

事業概要

株式会社 マイファーム

<http://www.myfarm.co.jp/>

代表：西辻一真

業種：農業コンサルティング 食農教育事業

創業：平成19（2007）年 設立：平成19（2007）年

住所：〒600-8107

京都市下京区五条通室町西入東鋸屋町189番地クマガイ五条ビル3F

TEL：075-708-2105 FAX：075-708-2109